

宗祖御遠忌記念事業【高山別院本堂等御修復 第二期工事】 耐震補強工事・諸設備整備工事の進捗

昨年12月に着工した高山別院本堂修復第二期工事は、3月末には耐震補強RC壁工事のコンクリート打設が完了し、5月には本堂正面のH鋼材を組み上げる耐震補強工事が行われる予定です。また、御坊会館トイレ改修工事など付帯工事についても順調に進められています。



(左) 本堂内の足場設置。天井板をすべて取り外し、小屋裏の耐震補強工事が行われ、照明をLED器具に交換しました。(中央) 耐震補強RC壁工事のための既存壁を解体。写真は本堂裏側。(右) 御坊会館入口の既存壁解体の状態。この後、鉄筋が組み込まれます。



(左) 本堂正面左側の耐震補強RC壁工事(鉄筋が組み上げられた状態)。この後、コンクリート打設が行われます。(中央) 御坊会館トイレ工事。既存トイレの西側の和室まで拡張し、2階本堂からも利用できるようになります。(右) 小屋裏最上部の鉄板敷設による耐震補強工事。



(左) 御坊会館玄関ホール工事。(中央) 本堂LED照明工事完了。とても明るくなりました。(右) 渡り廊下改修工事。サッシの新設、雪割屋根、屋根塗装工事、外壁塗装工事、玄関工事などが行われています。



(左) 本堂正面に設置されるH鋼材による耐震補強格子(下呂市:平野鉄建)。(右) 本堂裏講師用トイレ工事。



本堂内RC耐震壁工事。本堂内に面した部分では8カ所の耐震補強壁が新たに設けられました。(右) コンクリート打設が完了した耐震壁。

一本堂御修復追加工事について

去る3月6日、御遠忌本部会議及び記念事業部会において、本堂修復第二期工事の追加工事が承認されました。

第二期工事が順調に進む中、今回の工事に併せて行うべきと判断されるものや、工事が進む中で新たに確認された必要な工事について、下記の項目とおりご承認いただきました。

なお、追加工事の見積総額は16,567,620円(税込)となり、第二期工事の入札金額が予算に対し約4,000万円の減額となったことから今般の決定に至りました。

<追加工事項目>

- 1. 本堂内陣本間床張替え工事**
⇒ 本堂内陣床板損傷状況に鑑み施工。須弥壇修復中にのみ工事可能なため。
- 2. 本堂水道給水管工事**
⇒ 給水管老朽化による。さらに将来性に鑑み、口径を50mmのものに交換。
- 3. 小屋裏モルタル一部補修工事**
⇒ 耐震補強部分付近のモルタルの隙間補修。
- 4. 御坊会館空調工事**
⇒ 暖房機器老朽化により交換(現在の機器を交換)。
- 5. 御坊会館玄関防雪屋根工事**
⇒ 今年11月頃までには必要。
※ 御坊会館防雪屋根について製作は必須であるが、形態及び費用についてはより安価で実用的なものとなるよう現在検討中。
- 6. 渡り廊下屋根塗装工事**
⇒ 雪割屋根工事に併せて施工。壁塗装足場を使用。
- 7. 高圧伝中遮断機(キュービクル)交換工事**
⇒ 電気保安協会からの指導による。

御遠忌記念 仏具等の指定寄付のお願い

明年5月に高山教区・高山別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要をお迎えするにあたり、このたび、高山教区・高山別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌御遠忌推進委員会では下記のとおり仏具・備品等の指定寄付をお願いすることになりました。

この御遠忌を勝縁として、皆様より尊いご懇念を賜りますよう、ご奨励・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。詳細については高山教務所までお問い合わせください。

なお、このたびの寄付については、民法等に定める税制の優遇を受けた「指定寄付」とは異なりますので予めご了承ください。

記

- 1 寄付募集期間 2018年3月20日(火)～2018年12月28日(金)
- 2 寄付内容

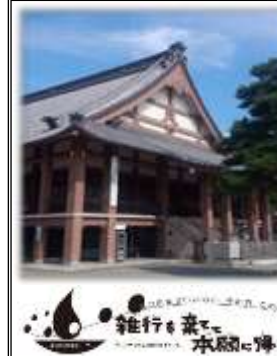
No.	寄付項目	仕様	数量	金額及び寄付口数	
1	水引(中尊前卓)	正絹深緑塩瀬地雲柄刺繍入	1	¥760,000×1口	
2	水引(嘉念坊上人前卓兼御坊会館前卓)	京紫色地観世流水に散蓮模様	4	¥520,000×4口	済
3	打敷(御坊会館上卓)	正絹朱塩瀬地鳳凰刺繍入	4	¥540,000×4口	済
4	四方卓(聖徳太子・七高僧)	最上若葉入	1対	¥460,000×1口	
5	挿鞋(大)	ドンス張 緑	10	¥280,000×1口	
6	蘭草履	はなお二つ	20	¥190,000×1口	
7	本堂パイプ椅子		300脚	¥20,000×50口(1口:6脚)	
8	本堂ストーブ	ブルーヒーター	5台	¥50,000×5口	

御遠忌・御修復懇志金収納状況のお知らせと御礼

4月24日現在における御遠忌の懇志金収納状況について、次のとおり御進納いただいておりますことを報告いたします。尊い御懇念をお寄せいただきましたこと厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

収納総額 370,523,121円 (御進納率 84.1%)

【内訳】御遠忌御修復懇志金 330,137,455円(4億円) () 予算額
 住職寺族懇志金 19,050,000円(21,230,000円)
 特別懇志金 21,398,500円(19,570,000円)
 一般懇志金 691,166円(2,081,187円)



高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人御遠忌通信

—宗祖御遠忌法要教化・本堂等御修復工事 推進—

第8号 2018年4月27日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会

高山別院本堂 第二期工事

本年10月中旬完了を予定

11月1日に御本尊還座式・別院報恩講を本堂で執行

昨年12月より着工いたしております別院本堂の耐震補強工事を中心とする第二期工事については、当初、11月末完了の予定でありましたが、特に耐震補強工事が順調に進められてきたことから、本年の別院報恩講までには工事が完了することの目途が立ち、4月9日開催の記念事業部会工事専門委員会において白鳥設計士及び施工業者である奥原建設より、その旨報告がなされました。

これにより、本年の別院報恩講は修復の完了した本堂で執り行われることとなり、報恩講に先立ち11月1日午前からは御本尊還座式が執り行われることとなりました。

御遠忌参拝席についての検討が始められました

御遠忌法要までおおよそ1年となり、法要厳修についての準備が進められつつある中、参拝促進部会を中心に御遠忌参拝席(各組団体参拝席を含む)についての検討が始められました。

御遠忌参拝席については全席椅子席とし、席数については現時点で1座あたり約480席余りを見込んでおります。その中で、最終的に各組に対し団体参拝席がどれだけの席数どのように割り当てられていくのか検討が進められてまいります。

これに併せ、団参バス運行や駐車場対応などを含む御遠忌参拝全般の詳細についても、順次検討が進められてまいります。

吉城組お待ち受け法要

各組お待ち受け行事の先頭をきって、吉城組では、今年6月3日午後1時半から南春寺において御遠忌お待ち受けの法要が勤められます。

法要は「正信偈真四句目下」による同朋唱和で勤められ、木名瀬勝氏(東京教区)が講演をされます。

満開の本山荘川桜—本山に植樹した荘川桜が満開となりました

昨年12月11日、本山に植樹された荘川桜が3月の中旬から下旬にかけて満開となりました。

今年は全般的に温暖な日が続いたため早い開花となり、本山境内地のソメイヨシノよりも早い開花となりました。



本山荘川桜 3月23日現在